

2009

JULY 7 vol.26

東京成徳広報



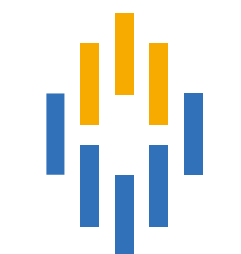
平成20年度 東京成徳大学大学院 学位記授与式を終えて



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	巻頭言「オール成徳の意識を共有し、目標の実現を！」 副理事長 木内 秀樹
P 4	東京成徳大学が「適格」認定を取得 — 日本高等教育評価機構による第三者評価 —
P 5	観光文化学科（仮称）を設置届出 人文学部の新たな挑戦 人文学部長 日山 紀彦
P 6	学園の新人事 深谷高等学校長 大谷 幸男 応用心理学部長 海保 博之 経営学部長 岡田 康司 応用心理学部 福祉心理学科長 宮本 文雄 応用心理学部 臨床心理学科長 小林 厚子 経営学部 経営学科長 松井 陽通
P 8	ひと『活躍する卒業生』 JOMO バスケットボール選手 吉田 亜沙美 医療法人社団根岸病院デイケア室 夏原 博史
P 9	社会との交流 教員免許状更新講習始まる 今、なぜ教員免許状更新か
P 10	進学状況 高等学校（東京）の進学実績 深谷高等学校の進学実績
P 11	就職状況 八千代キャンパス学生支援課 十条台キャンパス学生生活課
P 12	TOPICS 大学院 大学 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷高等学校 幼稚園 第二幼稚園
P 21	クラブ活動の成果
P 22	学園人事異動（採用・昇任・異動・退職）
P 23	役員紹介・後援会総会・学園決算
P 24	学園各校のお問い合わせ先



TOKYO SEITOKU

学園のシンボルマーク
「理」と「若」を表す
ブルーの五本の柱は、五つの教育目標を
「活」と「勇」を表した
イエローの三本の柱は、学生・生徒と
教職員、同窓生を象徴しています。
そして、八つの柱が一体となり、
東京成徳と学園に集う人々の
ヒューマニティーを
作り上げる姿を表現しています。



オール成徳の意識を 共有し、目標の実現を！

副理事長 木内 秀樹

優秀な生徒・学生を輩出するためには

五月二十三日の理事会において、副理事長を拝命致しました。今後は、理事長を補佐して学園のために力を尽くす所存ですので、皆様のご協力とご理解を賜りたくお願い申し上げます。

現在、昨年来の世界的な金融危機の影響から、私学にとつても厳しい状況で、財政的な損失に加え、私学志望者減の影響は長期的に財政を圧迫する要因となりかねません。有名大学で資金運用上の大きな損失を被ったり、私学の雄である大学でさえ、受験生的大幅減が大学の財政を揺るがすものとして新聞にも掲載されたことは皆様の記憶に新しいと思います。中等教育（中高）の学校においても、既に定員割れの学校の増加が深刻な問題となりつつあります。

教育研究の観点から大学関係者が評価した世界の大学ランキング

では、ハーバート大学を始めとするアメリカの大学が一〇位以内に八校も占めています。これはまさに、アメリカの大学の財務力の強さによるもので、研究費の支出や実力のある教授陣を招聘し、また最新の設備に更新できるのもそれによるものです。その結果、教育の質が高まり、優秀な学生・生徒を輩出することにつながるのです。本学園も長期的に発展し、その成果を挙げられるよう財務力の強化に取り組んでいく所存です。

近年、日本では少子高齢化が進行し、教育の量が減るとともに、社会の変化に対応し質の点においても再構築が求められているところですが、一〇年毎に改定される小中高の学習指導要領が学力強化という大幅な方針転換を図りましたし、高等教育では世界の大学との比較から、大学の教育の質を高めるために第三者評価を導入したり、高大接続を検討する中で入学時の

学生の質を確保するために高等学校の学力保証にまで話しが及んでいます。真面目で教育熱心な日本人が構築してきた教育制度や伝統的な仕組みによる成果が、世界的な比較評価にさらされて、その改革が求められるようになってきています。

本学園においては、「不易と流行」という言葉の通り、こうした時代の動きを積極的に取り入れながらも、私学として変わらぬ理念、「建学の精神」を発展的に堅持していくことが、学園のアイデンティティであり、最も大切なことだと考えております。

創立一〇〇周年に向けて

本学園は、今年創立八十四年目を迎えるところです。大正十五年に中等教育から始まり、現在では総合学園としての体制を整えてきましたが、これからは一〇〇周年に向けて更に一層のレベルアップを目指していくつもりです。今後の教育内容や組織はどう変えていくのか、また改革の方向については、学園の方針が示されることが必要ですが、その考えを実現していくために、教職員一丸となつて英知を結集することが求められています。いろいろな取り組みが考えられますが、次のことは是非や

りたいと思います。

(一) 東京成徳（オール成徳）という意識のもとに、学生・生徒・園児・同窓生・教職員がひとつの意識を共有すること。これはシンボルマークの理念でもあります。

(二) それぞれの学校が明確な目標をもって、その実現に向けて最大限の努力をすること。

これらを実現していくためには、学園のアイデンティティでもある「建学の精神」を踏まえ、各校それぞれが具体的な学生・生徒像を設定し、そうした若者を育てるためにはどういう方法をとれば良いのかを話し合い、教職員全員の協力のもとで取り組むことが必要です。

私自身は教員となつて二十五年になりますが、やりがいのある素晴らしい職業だと心から感じています。人を育てることは難しいし、結果がすぐ出るものではありません。しかしだからこそ何かを信じてやり続けなければいけないと思います。本学園を信頼し期待して子どもを預けてくれる保護者の夢を裏切るわけにはいきません。教職員の皆さんも、いわゆるサラリーマン的な意識を排し、教育に携わる誇りと喜びを持つて一緒に頑張っていたきたいと願っています。

東京成徳大学が「適格」認定を取得

— 日本高等教育評価機構による第三者評価 —



東京成徳大学は、平成二十年度に財団法人日本高等教育評価機構（以下、評価機構）による第三者評価を受審した結果、すべての評価基準において「適格」と認定されました（平成二十一年三月二十四日付）。

○第三者による評価とは

平成十六年度に学校教育法が改正され、すべての大学は七年に一度、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた機関による評価を受けることが義務付けられました。

これは、文科省から認証された第三者機関による評価を受けることにより、大学が高等教育機関として適格であるかどうかが社会的に保証される制度です。

○大学のこれまでの対応

本学では、平成十六年度の法改正を受けて学則を変更し、自己点検評価体制を構築するなど、第三者評価を受ける体制を着々と整備してきました。この間、評価機構が示す評価基準に即した自己点検

評価を二年連続で実施し、またFD (Faculty Development) の取り組みを実施して、大学における問題点を洗い出すなど、社会的な評価を得るための改善を続けて参りました。これらを踏まえて平成二十年度の受審となったものです。

○第三者評価の受審

平成十九年九月に評価機構へ平成二十年度受審の申込みを行いました。これをスタートとして、各学部・学科・大学院のメンバーで構成する自己点検報告書編集委員会を立ち上げ、評価機構が示す二十年度改訂評価基準に従って、第三者評価の基本となる「自己評価報告書」を六月に提出しました。また、十月には評価機構の評価員による実地調査を受け、大学キャンパスの日常の姿を確認していただきました。

○評価結果と今後の取組み

この結果、平成二十一年三月に評価機構から全ての点において、「大学評価基準を満たしている」とする判定がなされ、認定証の送達を受けることができました。本学と同時期には、五十八大学が評価機構に評価申請を行い、うち

五十三大学に認定評価が行われています。

本学では、今後、自己評価報告書において十分でない点と内部判断した項目について改善取り組みを行うとともに、実地調査の過程で受けた「参考意見」にも着目して改善を行い、高等教育機関として社会から評価される大学を目指して、教育・研究の充実・向上を図って参ります。

(注) 認証評価結果報告書の全文は、大学

評価基準のポイント（抜粋）

- 基準 1-1 建学の精神・基本理念が学内外に示されていること
- 基準 2-1 教育研究の基本的な組織（学部、学科、研究科、付属機関等）が大学の使命・目的を達成するための組織として適切に構成され、かつ、各組織相互の適切な関連性が保たれていること
- 基準 3-1 教育目的が教育課程や教育方法等に十分反映されていること
- 基準 4-1 アドミッションポリシー（受入れ方針・入学者選抜方針）が明確にされ、適切に運用されていること
- 基準 5-1 教育課程を遂行するために必要な教員が適切に配置されていること
- 基準 6-1 職員の組織編制の基本視点及び採用・昇進・異動の方針が明確に示され、かつ適切に運営されていること
- 基準 7-1 大学の目的を達成するために、大学及びその設置者の管理体制が整備されており、適切に機能していること
- 基準 8-1 大学の教育研究目的を達成するために必要な財政基盤を有し、収入と支出のバランスを考慮した運営がなされ、かつ適切に会計処理がなされていること
- 基準 9-1 教育研究目的を達成するために必要なキャンパス（校地、運動場、校舎等の施設設備）が整備され、適切に維持、運営されていること
- 基準 10-1 大学が持っている物的・人的資源を社会に提供する努力がなされていること
- 基準 11-1 社会的機関として必要な組織倫理が確立され、かつ適切な運営がなされていること



ホームページでご覧いただけます。

観光文化学科（仮称）を設置届出

人文学部の新たな挑戦

人文学部長 日山 紀彦



今、人文学部では新しい時代の潮流を視野に収めながら、これに対応すべく教育研究の内容と体制を再吟味し、抜本的な改革と再編を準備しています。

概要と骨子

「観光立国日本」をめざす国家の方針をふまえ、新たに「観光文化学科（仮称）」を設置し、人文学部を三学科体制に再編する。

「日本伝統文化学科」

日本の伝統文化を発展的に継承し発信する力を培うという教育目標の一層の充実を図る。

- ① カリキュラムの見直しを行う。
- ② 「文化マネジメント系」と「メディア系」の科目群を設け、現代とのつながりを深め社会的実践性を高めたい。

「国際言語文化学科」

異文化理解を深め、言語・コミュニケーション力を修得し、ビジネスや各種資格の取得に活用できる力の養成という教育目的の高度化を図る。

- ① これまでの専攻制の枠をはずし複数の言語や文化を自由に学べるよう垣根を低くする。これにより、補修授業等による基礎力アップを図る。
- ② 新海外留学制度・プランニングアドバイザー制度を導入する。
- ③ 現代的ニーズに適合した新しい教育方法やカリキュラムを整備して、一層充実した教育環境の整備に努める。

新たに設置予定の「観光文化学科（仮称）」設置の趣旨及び教育目標

二十一世紀における「観光」は、政治・経済社会・文化等のあらゆる生活領域で決定的に重要な意義と役割を有するものになっていくと考えられている。本学科では、特に、

- ① 「観光」を生活文化の一環としてトータルに捉え、多文化理

解に基づく新しい日本文化の創造および伝統文化・地域文化の発掘と刷新に努め、これを内外に発信し理解してもらうこと。

- ② 多くの外国人に日本を訪れてもらうこと。
- ③ 日本の新しい文化の創造に寄与することを、意図する。

教育目標

「観光デザイン力」「社会人基礎力」、この二つの力の育成を主眼として、観光のみならず社会のさまざまな領域で活躍できる人材の育成をめざす。

- ① 多文化理解に基づく「観光デザイン力」
楽しい独創的な旅を構想・企画・立案する力。そのための情報収集と発信する力を基軸とする。
- ② 「社会人基礎力」社会を生き抜く力の育成
(イ) シンキング 文化としての観光の理解と学びと体験を介してものごとを考える力
(ロ) アクション 主体的に働き掛ける力
(ハ) チームワーク 積極的に周囲とコミュニケーションをとり、協調して働く力

個性あふれた特色ある人文学部を目ざして、以上のような学部改組・再編成に目下全力で取り組んでおります。各位のご理解・ご協力・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

MEMO

観光庁

観光立国推進基本法

平成十九年一月より施行されている本法律において、観光は二十一世紀における日本の重要な政策の柱として初めて明確に位置づけられました。

① インバウンドの推進

訪日外国人旅行者数を二〇一〇年までに二〇〇〇万人、二〇二〇年までに二〇〇〇万人（二〇〇八年実績 八三五万人）アウトバウンドの推進

日本人旅行者数を二〇一〇年までに二〇〇〇万人

（二〇〇七年度実績 一七三〇万人、二〇〇八年実績 一五九九万人）

③ 日本人の国内観光旅行による一人当たりの宿泊数を二〇一〇年までに四泊

（平成十九年度実績 二、四泊）

④ 国際会議の誘致開催

⑤ 観光産業の国際競争力の強化

（以下略）

観光の振興に寄与する人材の育成が求められています。

三つの「生きる力」を

深谷高等学校長 大谷 幸男



本年四月一日付をもちまして、大澤健前校長の後任として着任致しました。浅学非才の私にとりまして、この上なく光栄に存じますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いです。

微力ではありますが、これまで以上に、入学したい（させたい）学校、入学して良かった学校、卒業して良かった学校、そうした学校作りに向けて全力を傾注して参る所存です。

私は着任早々、以下の三点をすべての教職員に強く訴えました。一つは、本学の建学の精神等を踏まえ、「確かな学力・豊かな人間性と社会性・頑張りのきく体力と気力」の三つを「生きる力」として、是非すべての生徒に身につけさせて欲しい。そのために、「授業の充実・改善」、「生徒の規律ある生活態度の確立」が課題であり、速やかな取組みが必要であること。二つ目は、学校自己評価、学校関係者（地元中学校長、自治会長など）評価の一層の充実を図るとともに、第三者評価をも実施・公開するなどして、指導水準の向上を目指すこと。三つ目は、客観的な目線に立ちながら、組織戦・団体戦を常に意識して、教職員間のチームワークを強化すること。

生徒のより良き成長と進路実現のために、そして本校の更なる発展のために、率先垂範、教職員一丸となって頑張つて参ります。皆様方の御指導・御支援を心からお願ひ申し上げます。

応用心理学部の新たなスタート

大学応用心理学部長 海保 博之



初代学部長の市村先生の後を引き継ぐことになりました。

今年度から「健康・スポーツ心理学科」がスタートし、そちらのほうの科長も兼ねての就任となりました。

よろしく申し上げます。

ところで、中京大学に本邦初の心理学部ができてすでに一〇年。

以後、わが大学も含めていくつかの大学で心理学部や心理学科——その多くは臨床心理学関係——が開設され、心理学はブームのような様相を呈することになりました。

それほど欧米の事情に詳しいわけではありませんが、これで、量的にはほぼ国際水準というところではないでしょうか。

そうした中での「福祉心理学科」「臨床心理学科」「健康・スポーツ心理学科」からなる応用心理学部のあらたなスタートです。

応用心理学部、健康・スポーツ心理学科の名称も気に入っています。

三学科が応用心理学部という学部の括りに入ったことも気に入っています。

日本で唯一の学部、学科のスタートになります。

応援のほど、よろしく申し上げます。

経営学部へ実学をめざして

大学経営学部長 岡田 康司



いよいよ、熱い集団、経営学部がスタート。まずは、フレッシュな新入生たちとハワイ旅行に行つて来ました。……というのは冗談で、実は桜満開のいわき市、日本のハワイ『スパリゾートハワイアンズ』（かつての『常磐ハワイ』）で、一泊二日の学外オリエンテーションを実施しました。

経営学部がめざすのは、記憶力重視ではなく「有徳有為」な、社会に真に役立つ「社会的偏差値」を持った人材の養成で、現実の息吹を加味した「実学」を心がけます。その第一歩として、かつて日本経済の基幹産業だった石炭採掘業から、次代の一翼を担うリゾート・レジャー産業へと変貌した姿を実際に見ることにしたので

まず『いわき石炭・化石館』を見学し、実話に基づく涙の名画『フラガール』とそのフラガールによるダンスの鑑賞、その後はみんなで議論、翌日は実際に観た経営戦略について小論文作成というスケジュールでした。

参加学生には、楽しい思い出の共有、各交流関係の構築がなされ、まずは、経営学部の第一期生としての団結・自覚・誇りなどを醸成できたと思われませんが、これからいろいろな「仕掛け」を企画して「実学」を完成させたいと考えております。

「ヒューマンサービス専門家」の育成

大学応用心理学部 福祉心理学科長

宮本文雄



平成五年、本学に福祉心理学が設置された当時、全国の大学で二番目に設置された学科でした。それまで福祉というと「施設を作る」、「お金を出す」などが中心でした。しか

し、その後、福祉は「人によるサービス」へと中心が移行していく時代でした。その時、ウェルビーイング（幸せ）を目指した福祉心理学が設置され、多くの高校生が受験してくれたのではと考えております。ところが現在になっても福祉の分野において、若者が働きやすい環境がまだまだ整備されてきていない事などが、入試にも大きく影響していると思われます。

しかし、高校生が職業を選ぶときに、大切なことは「多くの人の役に立つ」が四割強の割合になっています。これらのことから、ヒューマンサービスに関する職業にたいして関心は高いと考えられます。因みに本学科の卒業生は、企業、福祉、医療、教育等の各分野で活躍しております。

今後、学科のカリキュラムを更に精選し、一人ひとりに寄り添った相談・支援の出来る専門家の養成を行っていきたいと考えております。

有効な支援を発揮できる若者を

大学応用心理学部 臨床心理学科長

小林厚子



本学科は今年一〇期生を迎えました。悩みやストレスに苦しむ人々の「こころの癒し」をサポートする青年を育てるため、種々試みを実行してきました。カリキュラムを改

正し、全教員の演習を開設し、今年度から卒業研究・卒業論文を必修にしました。

また、体験学習・現場実践から支援について学ぶことを目指して、サマー・スクール、「お兄さん・お姉さん子ども電話相談室」に続き、中学校での「学習サポート」（八千代市教育委員会の「ドリーム・ティーチャー」の企画）、ティーチング・アシスタント、学科全学年の交流会の企画・運営などに参加し、支援する体験の機会が充実し、増加しつつあります。

そして全員が取得する「ピア・ヘルパー」の資格から、「臨床心理士」・各種の「カウンセラー」などが増加すること、公務員・教員・一般企業などでも有効な支援を発揮できる若者を社会に送りだすことに、専心したいと思っております。

臨床心理系大学院進学のための特別講座、教師・保育士・カウンセラーなどの資格取得の講座を充実させていく所存です。

新学部スタートに際して

大学経営学部 経営学科長 松井陽通



長い準備期間を経て、平成二十一年四月経営学部が発足しました。希望を胸に、晴れやかな入学式に臨む新入生を目の当たりにし、新学部のスタートを実感いたしました。

厳しい経済環境にとらわれることなく、四年後の社会における活躍の姿を胸に、大学生活に著実に取り組んで欲しいと願っています。

男性中心と思われがちな経営学部など社会科学系学部では、女子学生の割合が増加しています。ソフト化、サービス化が進展する企業の経営領域では、新商品・サービスの開発や改良、おもてなしの心が求められる販売業務やアフターサービスなど、女性の感性が力を発揮すべき分野がどんどん広がっています。

経営や経済、マーケティングの理論だけではなく、実践を学び、会計・経理や心理学、情報処理に対する合理的、科学的な方法論を身につけ、社会に巣立っていった欲しいと願っています。

学び、交わり、遊び、戸惑い、切り開き、自分をつかみ、高めるために、四年間を有意義なものにして下さい。教職員は、一丸となって、バックアップしていきます。

ひと

活躍する卒業生

Wリーグファイナル MVPに輝いた

JOMO バスケットボール選手 吉田 亜沙美さん

株式会社ジャパンエナジーに所属される吉田さんは、二十一歳の若さでチームの司令塔として活躍。第十回Wリーグで二季ぶりの優勝に貢献されました。

バスケットを始めた動機は

父親がバスケットボールの選手、一家全員がバスケットを愛好していたので小さい時からバスケットボールで遊んでいました。ミニバスケットのチームに入ったのは小学一年の頃です。

東京成徳での六年間の印象は

最初に成徳中にきた時は校舎がきれいでびっくりしました。中学・高校とよき指導者に恵まれメンバーストも揃っていたのでバスケット部は強かったのですが、私は勉強が苦手だったのでついていくのが



大変でした。高校三年の時二十一年ぶりにインターハイで優勝、中学も全国優勝を成し遂げ、中高同時の全国制覇で盛大な祝勝会をしていただいたのが強く印象に残っています。

実業団選手としての日々は 目標は

柏市に体育館とジム、そして同じ建物に合宿所があり、十三名の選手が起居を共にしています。午前・午後と練習、ジムで上半身・下半身をバランス良くつくっていく体づくりに励んでいます。もちろん走りこみもしっかりしています。ディフェンスを強化してオールジャパン、Wリーグ優勝を目指しますが、将来の夢はオリンピックにでることです。

好きな言葉は 後輩へのメッセージを

高校の時読んだ本に「困難はそれを乗り越えられる人にだけやってくる」という言葉があり、これを座右の銘にしています。「一つでも自分の得意なものに目標を立てて日々努力していくことが自分のプラスになる。大人になった時でも役立つと思うので、今頑張っていれば必ず報われる」と思っています。

(中高一貫部 平成十七年度卒業生)

興味のあるものを集中して学ぶ

医療法人社団根岸病院、デイケア室 夏原 博史さん



大学四年間どのように過ごされましたか。

「ヒトの心は環境でどのように変化していくのか?」『そもそもココロとは何なのか?』などということに興味を持ったことから心理学を勉強したいという思いがあったので、心理系の科目を中心に履修していました。ただ、せっかく福祉を学ぶチャンスでもあったので大きな偏りが生じないように福祉系の科目にもチャレンジしていました。

サークル活動では、テニスや手話に挑戦しました。当時は、自分の趣味や知識の広がりなどを求めてやってきたものでしたが、就職してから業務に直結することになるうとは当時は夢にも思いませんでした。

その他、アルバイトも経験。非常に時間に厳密なところであり、責任を持つことの重さを身をもって教えてもらえたことなど貴重な社会経験をさせてもらえたと思っています。

大学在学中に印象に残っていることや思い出は

大学という空間で学ぶ、あるいは遊ぶ、楽しむ、人とふれあうという体験は、当然ながら初めてのことであったので、多くの刺激を受けることができた時間であったと思っています。

具体的には、勉強というところまで「やらされていた」感の非常に強いもので取り組むにあたってモチベーションの上がりにくいものでしたが、興味のあるものを学ぶという点では非常に集中して取り組むことができたということに加えて比較的兴趣の低いものであっても話が進んでいくに連れて様々な共通性が見えてきて逆に強く興味を喚起されたこともありました。何よりも知らないことを覚えるあるいは理解するということに楽しさを見出させてくれたということでした。

対人関係においても色々な所から様々な人が集まるのが大学の特徴という点もあって、クラスやサークルなどを通して、今まで縁のなかったスキーや演劇鑑賞を初めて経験し自分の楽しさを広げてくれたことが印象として残っています。

今、最も力を入れていることは

当初、精神科ソーシャルケースワーカー(PSW)として病院に就職しました。仕事はとても奥が深くやりがいがあったのですが、個人的な事情で約一〇年勤めた職場を辞め

て、この四月から現在の職場に勤務しています。その為、新しい職場に慣れるべく覚えるべきことを覚えて使えるように取り組んでいることを一番に心がけています。現在の職場、デイケア室では、外来治療の一環として様々なプログラムを提出しています。当院の場合は、運動系・話し合い系・創作系・レク系に大きく分けられます。その中で私は、書道・園芸・テニス・ワード(イラスト)を担当しています。また、今までの自動車通勤から電車通勤に切り替わったことで、通勤時間を利用して政治経済など世の中の情報を収集したり、読書をして有意義に過ごすようにしています。その内、語学にも改めて取り組めたらと思っています。

後輩へのメッセージをひとこと

大学の四年間は、様々なことを経験・体験できるチャンスです。自分も楽しみでやっていたサークル活動がそのまま業務に直結した経験もあります。経験すること体験することには無駄なことはないと思います。学業だけではなく、サークル活動やアルバイトでの経験・体験が社会に出てから役に立つことも少なくありません。ぜひ勉強だけではなくサークル活動やアルバイト、恋愛、友人とのふれあい等々、思い切り楽しんで過ごして下さい。

(人文学部福祉心理学科 平成九年度卒業生)

教員免許状更新講習始まる

今、なぜ教員免許状更新か

日本の学童・生徒・学生の学力が世界各国と比較して問題となっています。それだけでなく、いじめ・不登校など学校を取り巻く問題は山積みです。指導する先生方が「最新の知識技能」を身につけることで、自信と誇りを持って教壇にたち、社会の尊敬と信頼を得られるよう、平成十九年六月に改正教育職員免許法が成立しました。今年の四月一日から教員免許更新制が導入されています。これをふまえ東京成徳大学・東京成徳短期大学は八千代キャンパス・十条台キャンパスにおいて免許状更新講習の認定申請を文部科学省に提出し文部科学大臣の認定をいただきました。



八千代キャンパスにおいては八月三日～五日にかけて講習会（選択講習）を予定しています。「国語（漢文・古文・現代文）」「英語教育における国際理解」「特別なニーズを持つ

つ子どもの教育」「生徒一人一人を生かす学級・ホームルーム経営」の四種類です。十条台キャンパスでは幼児教育科が四十年を超える歴史を持ち、これまでに一人近くの幼稚園教諭を育成し、教育の現場で活躍していただいております。

今回は子ども学部深谷学部長・幼児教育科中田科長はじめ本学の専門スタッフが講師を担当します。幼稚園教諭対象に開設された講習の概要と講座の一端をご紹介します。

幼児を対象に自然体験や野外活動を効果的に行うためのプログラム開発と指導方法について研究している浦田准教授は午前中まず受講生の方々に十条台キャンパスに隣接する中央公園に案内、「ご自分の気にいった葉を五枚集めてください」と要請。それから左図にあるような葉脈図鑑(?)をグループで自由に製作し、意図を発表してもらうという内容です。過程を、参観したスナップでご覧ください。



講習内容（十条台キャンパス）

I. 必修講習 幼児教育についての最新情報

①「教職についての省察」 深谷教授

現代の教育をめぐる状況を概観すると同時に、子どもの変容を視野に入れ、未来の教育の在り方を探求する。

②「子どもの変化についての理解」 中田教授

幼稚園生活の食事を中心とした生活習慣、遊び、友達関係など、子どもの変化を学習する。

③「教育政策の動向についての理解」 神長教授

新幼稚園教育要項改定の背景や基本方針と主な改善の内容である、発達や学びの連続性の確保、言葉や体験の重視、預かり保育や子育て支援の在り方を学習する。

④「学校の内外における連携協力についての理解」 和田教授

園内部、保護者、地域、そして幼保小との連携など、連携の意義や具体的方法を学習する。

II. 選択講習

⑤「幼児の自然体験」 浦田准教授

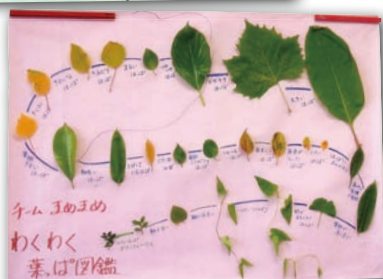
幼児期の自然体験をより豊かなものにしていくための実践と指導法を学ぶと同時に環境教育の視点からの身近な自然環境にかかわる意義と指導者の役割について学習する。今回はこの講習を参観したスナップをご紹介します。

⑥「ビデオフォーラム・幼児理解」 安見教授

一人ひとりに応じる保育から協同的学びにつながる学習へ
幼児理解について、理論と実践事例から学ぶ。一人ひとりの幼児の内面の理解、幼児と安定した信頼関係、発達に必要な経験ができる援助などを学ぶ。

⑦「子どもの音楽表現活動としての合奏」 板本教授

楽器を手にとって音を鳴らす楽しさ、この楽しさを生かした活動を「子どもたちのうた」の中に取り入れ、三種の簡易リズム楽器を主にした編曲の方法を研究し、演奏する。



高等学校（東京）の進学実績

受験生の傾向・特徴

二十年度の卒業生は、在籍数が増えたこともあり、大学進学者数が過去最高の三二四名、同様に合格累計者数も六四四名（前年比百十一％）に達した。進学率は、六十三％で前年をやや下回ったが、一般入試受験者実数は六十五名増加、在籍に占める割合は四十四％（前年四〇％）となった。AO入試や推薦入試で入り易い大学を探すのではなく、最後まで第一志望を目指す生徒が増える傾向を示しているといえる。これはまた、浪人の増加にも表れていて、現在五〇名の卒業生が第一志望校を目指し、再チャレンジをしている。

また、昨秋の経済悪化もあってか、短大の受験者数・合格者数が倍増した（七十三名合格）が、これはここ数年とは異なる傾向であった。受験大学で多かったのは、法政大学、東洋大学、日本大学である。また、東京大学に二名の合格が出たことも嬉しい結果であった。

平成二十年度大学入試結果

■国立大学

東京大学・一橋大学・筑波大学・長崎大学・埼玉大学・首都大学東京・防衛大学など十大学に十八名が合格。

■難関私立大学

早慶上理に四十名、GMARCHに四十二名、文系難関大学（成蹊・成城・武蔵・明治学院・國學院・獨協）に四十二名、理系難関大学（北里・東邦・芝浦工業・東京都市）に二十名、日東駒専に百十九名合格。

平成 20 年度合格実績

国公立大学（準大学含む）	18 名
東京大学、一橋大学、筑波大学、長崎大学、埼玉大学、首都大学東京、防衛大学校、奈良県立大学、水産大学校	
難関私立大学	82 名
早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、東京理科大学、国際基督教大学、明治大学、立教大学、法政大学他	
東京成徳大学	23 名
その他私立大学	521 名
東京成徳短期大学	29 名
その他短期大学	44 名
合 計	717 名

深谷高等学校 進学実績

本年度より、大谷幸男校長を迎え、新たな深谷校の教育活動を展開しています。

「県民のより確かな信頼を得られる学校づくり」を旗印に、中学生や保護者から「行きたい学校」「行かせたい学校」、そして「学んで良かった」と思える学校づくりをめざしています。

このためには、生徒自身が日々の生活の中で、勉強や部活動、学校行事に全力で取り組み、「志を立てる（立志）」こと。これが、めざす学校づくりの第一歩と考えています。

生涯にわたっての自分自身の生き方やあり方を真摯に考える。そして、どのような職業を選択し身を立て、社会のために貢献するかが、とりわけ肝要です。

確かな学力や豊かな人間性を身につけることを通して、進路の実現を図る。そのためには、教職員が一丸となり、きめ細やかな指導にあたることが何よりも大切です。

深谷校の進学実績を、より発展させるカギは、まさに同じベクトルのもと、団体戦で戦えるにかかっています。

平成二十年度合格実績

■国立大学

東京工業大学・宇都宮大学・群馬大学・新潟大学など九大学に十五名が合格。

■難関私立大学

早稲田大学・東京理科大学・明治大学・青山学院大学・中央大学・法政大学・学習院大学へ十七名合格。

■有名私立大学

成蹊大学・成城大学・明治学院大学・芝浦工業大学・東邦大学など八十名以上が合格。

平成 20 年度合格実績

国公立大学	15 名
東京工業大学、宇都宮大学、群馬大学、新潟大学、高崎経済大学他	
難関私立大学	17 名
早稲田大学、東京理科大学、明治大学、青山学院大学、中央大学、法政大学、学習院大学	
東京成徳大学	6 名
その他私立大学	352 名
短期大学	49 名
合 計	439 名

就職状況

〔八千代キャンパス〕

人文学部 学生支援課 阿部 博英

本年度の就職活動は、極めて厳しい経済環境の中での幕開けとなりました。業績不振のため採用予定数を削減する動きと、中長期の経営計画に基づき人員構成適正化のために採用を維持・増加する両面の動きがあるなか、八千代キャンパスに寄せられている求人は社数・人数とも昨年に比三割程度の減少となっております。しかしサービスなどの業種を中心に積極採用の会社も多いので悲観することなく志望業界・企業を広げて活動することが重要です。

大学生の求人倍率は一・六二倍と、前年比〇・五二倍の大幅マイナスとなっておりますが、バブル崩壊後の一九九六年（一・〇八倍）や戦後最悪の企業倒産を記録した二〇〇〇年（〇・九九倍）は上回っています。

企業の人材採用基準にも変化が生じており、危機的状況でもたくましく活躍できる学生を選抜するため、ストレス耐性を重視する動きがあります。採用基準も高まる傾向が顕著で、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などがますます重要になっております。私どもはこうした企業動向を的確に捉え、学生諸君の企業研究・エントリー・面接な

ど就職活動のさまざまな場面や就職講座を通じて積極的に助言・指導に努めております。

学生動向は、昨年度と比較すると就職希望者・進学希望者とも率が若干減少しているなかで、進路登録カード未提出者がやや多いことが懸念されるため提出促進に努めています。また就職希望者の内訳では、民間企業の志望者が減少、公務員が大幅に増加、福祉関係が微増となっており、景気動向に敏感な学生気質を反映しているようです。

学生支援課キャリア支援担当は就職希望者全員の内定獲得を目指して、学生に対する積極的な声かけと懇切丁寧な対応に努めています。



学内合同企業説明会の様子

〔十条台キャンパス〕

学生生活課長 溝田 一夫

子ども学部 進路状況

子ども学部の第二期生が卒業し、社会に羽ばたいて行きました。三年生前期では全体を対象に「履歴書の書き方」「エントリーの仕方」などの「演習」と、「職業適性論」などの「講義」を通して、就職活動に必要な基本を指導し、後期からは希望進路別コースに分かれて、より実践的な進路支援を行いました。

二期生全体の就職内定率は九十六％でした。その内、教職関連が九十九％、一般企業が九十一％と、一期生の場合とほぼ同じとなりました。教職関連では公立幼稚園・保育所、私立幼稚園・保育園、公立小学校、施設などに就職しております。また一般企業では、石川玩具(株)、鹿島建設(株)、株式会社ジオアリス、(株)西松屋チェーンなど多岐にわたっております。また専門学校へ一名進学しております。

短期大学の進路状況

短期大学では一般就職、教職関係ともに教職員一丸となり、一年生後期から就職ガイダンスを行うと共に、学生一人ひとりに対してきめ細かく進路支援を行っています。また今年度も夏休み中にはビジネス能力検定三級、国内旅行業務取扱管理者、公務員試験対策講座などの夏期講座を実施しています。

平成二十年度の就職内定率は、昨

秋からの急激な景気悪化を反映し、言語文化コミュニケーション科・ビジネス心理科ともに七十五％と大変厳しい結果となりましたが、学生たちは、旅行・ホテル・空港などの観光関係企業や、銀行・アパレル・化粧品・百貨店業界などに就職したり、また事務職として様々な業界に就職しております。一方幼児教育科では公立私立幼稚園・保育所などへの就職を中心に昨年と同じ九十九％となりました。また五名が四年制大学に編入、一名が専門学校に進学しております。

また幸いなことに、子ども学部、短期大学ともに内定取消しがありませんでした。



鈴木美伸氏による講演（キャリアに結びつく学生生活）

大学院

全ての経験を自分の成長の糧に

新入生代表 田口 通子

本年度大学院への入学を許可されました修士課程十九名は、社会経験も多様であり、これまでの学びの中で得た知識や経験も多岐にわたっておりあります。ここに、志を同じくする者たちが「心理学の現場でご活躍中の諸先生方から、臨床心理学の理論と技術、そして関連分野との連携の実際などを学びたい。」とあつまっております。

日本は経済成長を遂げた結果、科学技術や経済システムにおいては世界をリードする場面が増えました。それによって目に見える豊かさを手に入れた私たちは、今、目に見えない豊かさとは何かを問われる時代を生きています。高度に進歩した科学や経



済システムは、人間に恩恵をもたらした反面、その圧倒的な力で人間の心を蝕んできたことも確かです。

現在、日本は先の世界的な金融危機を発端とした不況の最中にあります。競争的な経済システムのもとで働き続けてきた人々は、「働き、生きる」ことの意味を探し始めています。また「生きづらさ」や「心の闇」に起因するとされる青年期世代の犯罪については、根本的な「闇」の原因には焦点が当てられないまま、表面的な報道の繰り返しの中で、人々は不安と恐怖にかられ、心を痛めています。このような社会の中で、懸命に生き抜こうとする人の喜びや悲しみに耳を傾け、支援するために臨床心理学の理論や技術の習得以外にも支援者自身の人間の成長を欠かすことはできません。

私たちはまだ未熟で知識も技術も持ち合わせてはおりません。これからの一年間、大学院修士課程では困難な壁にぶつかることもあるかとは思いますが、その壁を乗り越えた先に、人間的な成長があると信じております。

自身の将来の夢を実現させるという志をよりどころとして、全ての経験を自分の成長の糧にしていく覚悟で学ぶ所存でございます。学長先生はじめ諸先生方のご指導を賜り、私たちの成長をお導きくださるよう心からお願い申し上げます、新入生代表の挨拶といたします。

(筑波大学 第二学群 人間学類 卒業)

大学院

スクールカウンセラーの現状と課題

臨床心理士 山岡 祥子



山岡祥子さんは宇都宮市在住、四人のお子様を育てながら五年間大学院で学ばれました。

今春、「高機能広汎性発達障害児・者を持つ母親の障害告知に関する研究」という論文をまとめられ(指導教員中村真理教授)、めでたく博士(心理学)を授与されております。

現在はスクールカウンセラーとして超多忙の日々を過ごされているスーパーレディです。

この大学院を志された動機は

私は大学で心理学を学びたいと希望していたのですが、高校で英語の教員をしていた父親の勧めで日本女子大で英文を学びました。しかし心理学への思いは強く、一番下の子どもが小学校に入ったのを契機に大学院に入り念願の心理学を学び、カウンセリングの技法を身につけることができました。

IT革命、技術革新の陰で、さまざまな歪みが生まれ、人々の心を蝕んでいるケースが多々あります。高度情報化社会においてはコミュニケーションが特に重要視されていますが、特に発達障害について研究し、多くの人々の問題を解決したいと思っています。

現在のお仕事はどのような内容でしょうか

五年前から県派遣のスクールカウンセラーとして複数の中学校を担当してききましたが、今年からは宇都宮市の小学校一〇校も委嘱され、各校の先生方とメールで連絡を取りながら相談業務に取り組んでいます。いじめ・発達障害・不登校など問題は山積みですが、悩んでいる先生方を励ますのもスクールカウンセラーの務めです。

いじめは陰湿なものも確かにあります。が、中にはいじめられたと訴えた子どもが主観的な感覚が大きいこともあり、取り扱いは特に注意が必要となっています。

学校の風土によってニーズも違うのですが、小学校の場合、七〇%が発達障害がらみです。IQが極端に低い児童や高機能自閉症などでどうしても学校に適応できない児童は親や医師とも相談して特別支援学校に移ってもらう場合もあります。アスペルガー障害(知的発達の遅れがありながら特殊な才能・発想をもち、異様な行動を起こす)の懸念のある児童の場合などは、通級支援教室や特別支援学級なども視野に入れ、保護者や先生方と連携しながら、子どもが学校へ適応できる道をさがしています。小学校では、初めの相談が一日に六ヶー以上になる場合も珍しくありません。学校で長時間カウンセリングをして帰宅するとぐったりし、子どもの夕食をつくると、もうなにもできない時もあります。

(平成二十年 博士後期課程修了)

人文学部

仏像の見分け方、楽しみ方



せん。

右手をあげ左手を下げる手願・施無畏印、腹前で両手を重ねる禪定印は如来の一般的な印です。説法の時は手を胸の前におく説法印にします。阿彌陀如来は来迎印が多く、指を捻じています。薬師如来は右手を施無畏印、左手に薬壺を持ち、人々を病の苦しみから救うことを表わします。

菩薩（ぼさつ）

悟りを開いて仏陀となることが予定され、現在修行中の者をいいます。釈迦成道以前のシッダールタ太子をモデルとして造形されていますので若い貴人が基本です。地藏菩薩だけは例外的に僧形にします。

日本伝統文化学科教授 金丸 和子
近年仏像がブームですが、仏像は姿や形の決まりを知って拝観すると、より深く、楽しく仏像を味わえると思います。仏像とは狭義には釈迦をはじめとする悟りを開いた者である仏陀（如来）の像のことです。普通、如来の他に菩薩、明王、天部、その他羅漢、高僧、垂迹部の像など、たくさん種類を含んで「仏像」といいます。

如来（にょらい）

悟りを開いた仏陀である如来は、頭部はパンチパーマのような螺旋髪、頭頂が盛り上がる肉髻、額の白毫などに特徴がありますが、装身具をつけないので、手印（手の形）か脇侍や眷属から、どの如来であるかを判断するしかありません。

天部（てんぶ）

仏教に取り入れられた異教の神々の総称です。仏法の守護神や護世神として仏・菩薩の下に位置づけられます。

本年春、東京国立博物館の「阿修羅展」で人気を博した阿修羅は、天部の仲間です。釈迦如来の眷属です。薬師如来には眷属として十二神将が従います。天部には、仁王のように筋骨隆々としたもの、吉祥天、弁才天、鬼子母神のように美しい女性の姿にするもの、貴人のような梵天・帝釈天、武装した四天王など、さまざまな姿のものがあります。

明王（みょうおう）

大日如来の命を奉じ、怒りの表情で教化していく人々を救う密教の尊像である明王の代表は不動明王です。剣と索をもっています。

全部はとても紹介しきれませんが、それぞれ意味のある姿形をしています。そして、決まった形の中で時代や人々の願いによって違ってきます。じっくり拝観し、堪能していただければと思います。

（この原稿は六月十三日、本学園後援会総会時の講演を基にまとめたものです。）

応用心理学部

健康・スポーツ心理学科の新企画「スポーツボランティア」

本年四月新発足した本学科では、学生が子どもたちと共に野外で遊ぶボランティア活動を、学科の講座「地域ボランティア演習」として設けました。入門期の扱いとして理論、体験、体験の振り返り（報告会）などの内容で構成されています。

八千代市には総合運動公園の隣接地に子どもが自由に遊べる「新川わくわくプレーパーク」が行政と市民が協働で毎週土・日に一〇時～一六時まで開催されています。

「新川わくわくプレーパーク」には、森と広場があり、木・土・水・火・竹などを自由に使える遊び場です。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとして、子どもたちが自由にのびのび遊べるように禁止事項をなるべく少なくして子どもが「やりたい」という気持ちで大切にし、「特定非営利活動法人八千代市民プレーパークの会」が運営を委託されています。

プレーパークはヨーロッパで生まれ、日本では一九七〇年代から東京都世田谷ではじまり、現在全国二〇〇カ所以上で開催されています。

昨年五月からスタートしましたが、年間を通して一日平均六四人強が訪れ、気候が良い時は大賑わいです。親子連れも多く、子どもたちといっしょに自然を楽しんでいます。大きな事故につながらないように、三人のプレーリーダーが常駐していますが、本学科からも、ローテーションで毎回二人の学生を派遣しています。一人当たり年間三～四回行く予定です。TSUのロゴが入ったTシャツを着用して参加していますが、子どもたちはすぐ学生にニックネームをつけたりに仲間を誘いこんでいます。子どもたちの遊びは「泥だらけになって遊ぶ」「木登りをする」「薪を燃やしたりする」などと聞いて最初は戸惑った学生も、子どもたちと同じ目線で楽しむことができ、次回を楽しみにしています。八千代市民プレーパークの会の皆さんの暖かいご配慮・ご支援のおかげで、このプレーパークが順調に運営されることを願っています。



写真提供 NPO法人八千代市民プレーパークの会

子ども学部

「子ども学」とは（リレー連載⑥）

「幼児期の教育」の視座から

教授 神長 美津子



「幼児期の教育」では、幼児が、基本的な生活習慣を身につけ、集団生活を通して人間関係を学ぶとともに、学習意欲につながる好奇心や探究心をもつようになることを大切にしています。もちろん、そのためには、家庭と連携し、家庭とともに幼児の健やかな成長を見守ることが不可欠です。しかし、現実には少子化や情報化、女性の社会進出の増大等の幼児を取り巻く環境が変化することで家庭の子育て力が著しく低下していることから、質の高い幼児教育を期待することはなかなかできません。

こうした中で最近、政府により取りまとめられた「骨太の方針二〇〇九」に、幼稚園や保育所における「幼児教育の無償化」がとりあげられ、幼児教育の充実の方向が示されました。この新聞記事を読み、ようやく「幼児期の教育」に社会的な関心が向けられてきたと思いました。

これまでの日本の社会では、義務教育の無

償化は当然のこととして受け止められてきましたが、幼児教育に関しては、それぞれの家庭が行うこととして受け止められています。日本の場合、先進諸国の中でも公的な助成が極端に少なくなっています。たとえばフランスでは、主に三歳児から五歳児を対象とした幼稚園は九十九パーセントが公立であり、無償です。韓国でも、一九九九年より、五歳児から幼児教育・保育の無償化が段階的に進められています。先進諸国の多くは就学前の幼児教育の成果に注目し、無償化の道を選んでいます。

アメリカのある調査では、就学前の教育を受けることにより、その後の学力の向上、進学率の向上、所得の増大、犯罪率の減少などの社会的・経済的効果をもたらすことを報告しています。この調査結果をそのまま日本の社会にあてはめることは、早急すぎると思います。しかし、日本では、三・四歳児になると幼稚園や保育所に通わせなくてはという親の思いから幼児教育が始まり、教育の効果という、社会的な関心から幼児教育を捉えてこなかったことは確かです。

「幼児教育の無償化」の議論を通して、生涯にわたる人間形成の基礎をつくる幼児期の教育に対し、社会的な関心が広がるとともに高まることを期待しています。

子ども学部

六大学連携教育支援人材育成事業
アフタースクール指導者養成講座

軽井沢教育委員会と子ども学部が連携した講習会が二月～三月末にかけ全六回開かれ、チューター育成に努めました。この講習の目的はアフタースクールを中心に、特別支援教育などを含めて、軽井沢町の学校の教育活動を支援する人たちを育成することでした。

講習は全十二コマで子どもを指導するのに必要とされる基本的な知識や技能の習得をめざすため、バラエティに富んだ講座を揃えました。斯界の一流講師の講座だけに示唆に富んだ話、具体的なケーススタディ、野外活動、粘土の造形で自分の作品造りなど魅力にあふれ、当初の参加予定者を倍増する盛況でした。最終日の三月三十日は、深谷学部長の「アフタースクールの課題」

佐藤教育長による「軽井沢の教育を考える」講座があり、受講者の方々に修了証が渡されました。この講習会のフォローが肝心と六月二十三日に再度「集い」があり、二十代から五十代までの幅広い層の参加者が熱心に今後の活動について話し合いをしました。

スクールサポーターの研修を

子ども学部長 深谷昌志

子ども学部では、昨年度から文部科学省の支援を受けて、他の五大学と連携して「教育支援人材育成事業」を展開しています。現在の学校は多くの問題を抱えています。そこで社会人に子どもの問題を学習してもらい、修了者にライセンスを付与する。そしてその人たちにアフタースクールや特別支

援学級などの指導に参加してもらう計画です。

軽井沢の研修はそうした事業の一環で、今年も多くの受講者が見込まれています。子ども学部では、今後、地元の北区や台東区、宮城県の利府町などで、地域の状況に応じたスクールサポーターの研修計画の実施を予定しています。学内外の先生方に講師をお願いすることになりますので、ご支援の程をよろしくお願いいたします。

六大学連携教育支援事業

東京学芸大学、奈良教育大学、鳴門教育大学、東京成徳大学、白梅学園大学、中国学園大学の六大学が連携し、人材育成事業に参画しています。



経営学部

新設の経営学部の世界トップの多彩な人材



です。渡辺教授は、着任早々のこの四月に、国際技術経営学会 (IAMOT) から技術・イノベーション経営研究の世界トップ七人の一人として表彰されました。この一〇年間の一連の研究が注目されたと言うことです。

いよいよ四月から十条台キャンパスに経営学部が新設され、世界トップの多彩な人材を集め、東京成徳大学に新しい顔が加わりました。東京工業大学から来られた渡辺千仞教授は、文部科学省の二十一世紀COEプログラムの「インスティテューショナル技術経営学」拠点のリーダーをされており、イノベーションは社会経済や文化、風土、歴史、人々の生き様などとあやを成して生まれたり沈んだりするという着想で世界をリードする研究をされてこられました。「世界広しと言えどもこういう研究ができるのは、ビジネス心理等の研究層の厚い東京成徳大学において他にない」ということで、経営学部に参加されたと言うこと

産業界と大学・研究機関との共同の技術開発や情報交換活動が年々活発になっていきます。渡辺教授はその先達として日本を代表する多くの国際企業の指導に当たられ、多くの成果・実績をあげてこられました。教授は、昨年にも同じ研究に対して文部科学大臣表彰科学技術賞や研究・技術計画学会賞を受賞されています。東京成徳大学にますます多彩な人材がそろい楽しみです。



21世紀COE (センターオブ・エクセレンス) プログラム

日本の大学の研究教育水準を世界トップレベルに引き上げることをねらいに 2002 年に文部科学省が設立したプログラムで、全国の大学から提案を求め、選抜された卓越した計画に対して、5 年間の支援が行われるものです。

IAMOT (国際技術経営学会)

世界レベルですぐれた技術経営 (MOT) 教育と研究を進めることをねらいに 1992 年に米国フロリダ州に設立された世界 79 カ国が参加する世界最大の産学連携の国際組織です。

経営学部

経営学部の教育について



教授 大貫学

(1) 「実学」の志向

学問とは実社会において活用されて初めて意味を持つてきます。特に経営学の分野においては、座学だけではカバーしきれない広範囲かつ多様で複雑な社会を対象としており、そのような社会において役に立つ学問が求められています。それは、具体的には常に変化している現実社会との接点を重視した知識と理論を修得するとともに、現実には座学だけでは答の出せない問題を自ら発見し解決していく能力を養うための訓練をしていくということです。

(2) 現実社会との接点を重視

現実社会で本当に必要とされている知識と理論は、アカデミックスに構築された机上の世界とはかけ離れたものであるということを認識しておく必要があります。すなわち、それは常に変化しつづける実社会に即した機動的な課題解決が求められることを意味しており、多様性の確保が重要になってきます。ま

た現実社会で本当に必要とされている知識と理論は、様々な現場で実際に経験した者でないと分からないものであり、そのような者でなければ学生に身をもって教えることは難しいのではないのでしょうか。その意味からも、様々な分野の一線で活躍してきた人とのネットワークを重視するとともに、そのような人を積極的に招聘した講義も取り入れていきたいと考えています。

(3) 問題発見・解決能力の訓練

学生に対する知識や理論の一方的な伝達だけでは、実社会で活躍できる人材に育成することはできないと考えています。現実の社会では、自分で問題を発見し解決をしていくことが求められているわけですが、それは多くの人の意見を聞きながら、自分だけで思いもつかなかった視点を発見しながら成し遂げていくものです。そのような能力を訓練していくためには少人数でフィールドワークやグループディスカッションをしていく必要があります。ゼミ (研究演習) ではそのような訓練を徹底していきたいと考えています。

MEMO
経営学

日本の経営学は、第二次世界大戦まではドイツの経営経済学の、戦後はアメリカの経営管理学の影響を受けてきました。昭和三十五年頃からは日本独自の体系において構築しようとしています。



短大

秋山秀一教授、NHKラジオ第一放送にレギュラー出演中

NHKラジオ第一放送の金曜旅倶楽部という番組の中に「旅に出ようよ」というコーナーがある。柿沼郭アナウンサーとキャスターの石山智恵さんが進行係を務める大人のための旅番組で、毎回旅のプレゼンターが出演して、お勧めの日本の観光地を取り上げ、その魅力や産物、見所などを紹介している。

放送時間は、ニュースの後の、金曜日の午後三時三十三分から午後三時五十分までで、実際に旅をして、現地で得た旅の話、それに秋山教授本人が現地で録音した音も流れる。

四月は「安らぎの城下町を歩く」岡山県高梁市」、五月は「寅さんのふるさとを歩く」東京都葛飾・柴又」、六月は「SLと洋館、心和む町を歩く」栃木県茂木町」のタイトルで臨場感溢れる旅の話が日本全国に放送された。

NHKのホームページにアクセスすると、プレゼンターのラインナップとともに、次週の番組内容の紹介と、過去に放送されたバックナンバーを見ることが出来る。

七月は長野県小布施町、八月は茨城県結城市、九月は石川県小松市、と、秋山教授は来年三月までレギュラー出演の予定。毎月第一金曜日午後三時三十三分、NHKラジオ第一放送で秋山教授の声を聴いてみてはいかがでしょう。

写真は、六月五日の放送のときに話題になった、栃木県茂木町出身の画家古田土雅堂の旧宅とその横を煙を吐きながら通過するSLを撮ったもの。

短大

これからの幼稚園教諭に求めること

幼児教育科長 中田カヨ子



入園前の家庭の躰について

最近では少子化の影響で、子どもの数が少なく、その結果、過保護の親が多くなっています。二歳児の三分の一がおむつをしている等の話をよく聞きます。これでは、幼稚園教諭が一人ひとりのトイレ指導、食事指導等の生活習慣の指導を今まで以上にすることが要求されます。幼稚園は保育所とは違い、一人の先生が受け持つ子どものおむつ交換の世話までしなければならぬと、他の子どもたちとかわることもや、予定している保育の内容に支障をきたすのです。

本来、幼稚園は教育施設ですが、まさかおむつ交換までは考えていなかったことだと思えます。実際、保育所で生活している二歳児の大部分は、おむつが取れています。大部分の子どもが上手に出来なくても、自分で食事をしていきます。当然三歳までには、一人でトイレも食事も出来るように指導がされています。つまり、親が努力されています。

入園する前に、子どもが自分の身の回りのことができるようになるはず。この点を親に理解してもらい、子どもの躰は家庭の責任とすることを親に話し理解していただく必要があります。「他人の家庭のしつけのことにまで、先生が口を出すのはおかしい」などと言われるのは筋が違います。

入園時に園の方針を親に徹底する

入園時に園の方針を親に徹底する。本来、幼稚園年齢は子どもが自分のことを自分でできるようにする年齢ということで三歳から入園と決まったと聞いています。もし自分の子どものことが不安ならば、三歳までに自分の身の回りの事ができるように努力してから、幼稚園に入園させればよいことです。普通、親は心配で、幼稚園の方に問い合わせをしてくるものです。そんな時に、「入園までに、一人でできるように努力をしてください」と言えば、親も頑張るでしょうが、入園の希望者が少ないからと親に何も言わない園もあるようですが、逆に願書の手続の時に「四月までに何でもできるような努力をしてください」と言っている幼稚園では「おむつを入園のときにしている子どもは一人もいなかった」と言っていました。入園児が少なくなるからと、親に何も要求できないのはおかしいと思

幼稚園教諭のあるべき姿

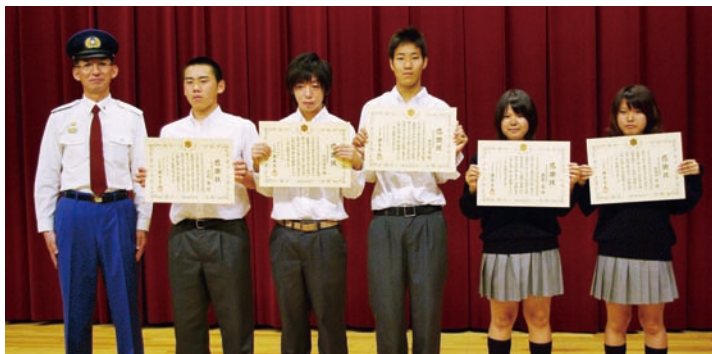
この頃の幼稚園の先生は、親の問題に悩んでいるという事をよく聞きます。親に言われたら反論が出来ないとか、こちらが正しくてもなかなか言えないとも聞きます。こんな考え方をもっていたら、親と協力をして子どもを育てていけないと思います。少なくとも、園にいるときの子どものことは、親よりも担任の先生のほうが詳しく知っているわけですから、親の話を一方的に聞かなくても、担任として、言いたいことははっきり言うほうが良いのです。幼稚園教諭がしつけの指導を行わなければならない時は、生活習慣などを含め、親に遠慮なく、双方が納得いくまで話し合いができる幼稚園教諭を期待しています。園でもなければ、親でもない、子どものことを一番に考えられる幼稚園教諭になつて欲しいと考えます。

中高一貫部
・高等部

高校男子ソフトボール部員五名 人命救助で消防署長より感謝状

六月八日（月）八時二十五分より、本館体育館において全校集会が開かれました。

これは本校生徒が自らの危険を顧みず人命を救助したため、千住消防署藤木良夫署長より感謝状をいただく光栄に浴したためです。木内校長は五名の生徒の冷静な判断・迅速な対応力を称賛しながら、くれぐれも生徒たちが自分自身の身の安全にも留意することが大切と講話。感謝状贈呈式では一人ひとりが藤木署長より感謝状をいただき感激していました。



功労者

三年男子	志村 唯	中高 貫部
二年男子	武内祐治	中高 貫部
一年男子	鈴木多聞	中高 一貫部
三年女子	藤原 茜	高等部
三年女子	府瀬川泉	高等部

事件の概要

（当時の状況を部員に伺いました）

六月三日（水）午後六時過ぎの出来事です。ソフトボール部は鹿浜橋の下にある荒川の河川敷グラウンドで練習をしていた。その時、ソフトボール部マネージャー（女子）に中年の男性が話かけてきました。男性は目がうつろで、気力がない感じ、さびしそうな後ろ姿で変な雰囲気をもっていました。

みずから「自殺する」と宣言したので大声で制止したが、川に飛び込んだようです。三年の男子部員は非常に冷静で、まず最初に服や靴を脱ぎそれから川に入り、川の流れが早く足元がまったく確認できない状況で川岸から五m先（水深一・五m）に首までつかった男性を後輩と連携しながら確保し、川岸まで引きよせ、更に河川敷に引き上げました。この間マネージャー二名が携帯電話で一〇番や部の顧問の先生に通報、警察官や消防隊が駆けつけ男性を保護しました。

千住消防署の資料によると、現

場の荒川は水流部の幅が約一五〇m。最深部の水深は一〇mということですので、男性が三名いたから救助できましたが一名でしたら巻き添えになりかねない危険な場所だったと思います。

生命の尊厳を考える

警察庁の発表によると日本の自殺者は八年連続で三万人を超え、交通事故による死者数を上回っています。人口十万人あたりの自殺者であらわされる「自殺死亡率」は世界で八番目、主要七カ国の中では最も高く「自殺大国」と言われています。

五名の功労者は「自殺」について「いくら辛いからといって、自分から死ぬのは非常に良くないと思う。特に若い人（十代）は、まだまだこれからだから少し必死に考えてみると良いと思う」「生きてくても生きられない人たちがいるのに・・・もつと命を大事にしたほうが良いと思う」「自殺はいけないことだと思います。確かに、人生つらくて生きるのは嫌だっと思うこともあるけれど、死んではいけないと思う。ムダな命なんてないと思う」「もつと命を大切にしたい」「世界には生きていたい人もいるのに、自殺するのはよくないと思う」と述べてくれました。

ストレス社会ですが、「命の尊さ」「メンタルヘルスの重要性」を改めて考えたいと思います。

中高一貫部

災害の本当の怖さを擬似体験

一年一組 岩崎穂乃香
私は、校外学習を通して、たくさんの方の事を学びました。その中でも、私が一番心に残った事は、「北区防災センター」に行った事です。そこでは、災害について学びました。そして、地震・火事を体験しました。

地震体験では、どんな震度を上げていったり、関東大震災などのパターンを体験したりしました。私は、あまり震度の高い地震を体験したことがありませんでした。だけど、今日のこの体験をして、本当の怖さを知りました。震度七では、体が浮いてしまうほど揺れが激しくて、びっくりしました。縦揺れと横揺れを体験して、



今まで震度の高い地震を体験してきた人達の気持ちが変わりました。

火災体験では、密室に煙を充満させ、その中に入って体験しました。煙はどのくらい苦しいのだろうとずっと思っていました。実際に体験してみたら、想像以上に苦しくて、びっくりしました。息は吸えないし、前は見えなかった。一分もたつていないのに、すごく苦しかったです。煙の怖さを知り、前よりも、火には気を付けなければいけないと思いました。

この校外学習のおかげで、知らなかった事もたくさん知れてよかったです。とても勉強になりました。



高等部

多くの感動を、思い出を残した体育祭



全校挙げてのご協力に感謝！

生徒会長 三年 小林 祐介

「体育祭を盛り上げる」というのは僕が生徒会長になった時からの目標の一つであり、当日までそのための準備をしてきました。しかし、僕が思っていた以上に上手く盛り上げることができず、自分としては満足する結果が出せなかったことを不甲斐なく思います。

ですが、生徒たち自身が盛り上げてくれたことにより、結果的には良い体育祭になったのではないかと思います。このような体育祭を行うことができたのは生徒会役員の皆さん、生徒の皆さん、先生方、そして観客の皆さんのご協力のお蔭です。本当に有難うございました。

全競技に全クラス出場で盛り上がる

体育祭実行委員長 三年 齋藤 圭佑

今年の体育祭は、大縄、H R Rレーの予戦なしという、例年では見られない形での開催となりました。結果、全競技に全クラスが出場することになり、少々時間はかかってしまいましたが、出場者・観客共に盛り上がりがあったのだと感じています。また今回は、体育祭実行委員会の方に、例年よりも多くの仕事をしていただき、運営をスムーズに行うことができました。一・二年生には、今回の反省

を生かし、来年以降の体育祭がより良いものとなるよう、頑張ってもらいたいと思います。

『超究極的青春原子力体育祭』をめざす

体育祭副実行委員長 二年 野沢 時央

今年の体育祭で私は副実行委員長というポジションで直接的に体育祭運営に立ち会いました。二年生になって初めての職員会議に参加したり、生徒会に入ったらばかりの一年生にも仕事を割り振ったりするようになり、二年生ながらも新鮮な経験を多くしたように思います。そして三年生の足手まといにならないように、去年以上に行動し責任も重くなったと感じました。とはいえ、先輩にはたびたび助けられました。来年は私達二年生が三年生となり、体育祭などの行事運営をする立場となります。実行委員会に実施したアンケートや、生徒会に入って得た知識や経験を基に改善点は改め『超究極的青春原子力の如く体育祭』を作りたいと思います。

体育祭を終えて

教諭 荒川 富美恵

予行は生憎の雨で始まり、当日はどうなることかと心配しましたが、天候にも恵まれ、最後まで興奮の喚起に包まれた体育祭でした。昨年までと大きく違った点は、予戦会をなくすという試みをした

ことです。全クラスが参加のホームルームリレー、大縄跳び競技が行われ、クラスが一体となり、団結力が強まったのではないかと感じております。また運動部男子の演舞は例年になく厳しい練習の成果が発揮された、素晴らしい集団演技となり、大きな拍手が惜しみなく送られていました。生徒皆が多くの感動と思い出を残してくれましたと感じています。平日にも関わらず、沢山の保護者の皆様のご観戦、有難うございました。





六月三日（水）に行われた体育祭はコース別単位で四ブロックに別かれ、ブロックごとに優勝を競いました。全部で十四の種目が行われましたが、全ブロック対象の競技が十種目もあり全校生徒が闘志を燃やして競技に応援に全力を傾注していました。

優勝クラスのコメント

一致団結で目標達成

△ブロック 一B 橋本悠

成徳に入って初めての体育祭、立花先生の指導でのクラスの目標「優勝」に向かって一致団結しました。私達は最後まで諦めないという気持ちを持ち優勝することができました。また最後のHR対抗リレーでは皆が一つになり感動的な走りができたと思います。

応援して下さいました皆様、有難うございました。

行事三冠王に一步近付く

Bブロック 三F 浅見龍太

私達が優勝できたのは、相手に立ち向かっていく勇氣、どんなことがあっても諦めない気持ち、そして、一生懸命練習する中で強くなっていた友情という名のこんにやくよりも固い団結力があつたからだだと思います。クラスの目標である行事三冠王に一步近付けてとてもうれしいです。

JUST DO IT

Cブロック 三G 神田 優

増淵 友華

私達三年G組は、昨年、一昨年と三Gが優勝していたこともありプレッシャーがありました。JUST DO ITのスローガンを立て、一人ひとりが全力を尽くして頑張りました。結果優勝し、さらにクラスの絆が深まり最後の体育祭を終えることができて良い思い出ができました。

クラス全員が心を一つに！

Dブロック 三E 奥平夕稀

私達が少ない練習時間の中で優勝することができたのは、クラス全員がお互いを思いやり、支えあい、心を一つにすることができたからだだと思います。最後のHR対抗リレーを一位でゴールした時には、緊張から解き放たれ、涙を流して喜びました。高校最後の体育祭が最高の体育祭になりました。



幼稚園

「生きる 智慧・感じる心」

教頭 大武 深雪

子どもが生まれる前は、五体満足とだけ願って生まれた子どもたちも、いつのまにか沢山の期待を受け成長していかなければなりません。幼稚園はそんな子どもたちが、この世に生を受けた三年目で社会への一歩を踏み出す大切な場所です。十人十色と申しますように教育する方法も無限にあります。

人を育成していくにはどれが良いのかは、

最後でなくては計り知れないものがあります。幼稚園は学びの場ですが限られた保育時間にとだけ濃いつけられるかが、一つの世にも課題となっています。今でも共通して言えることの一つには、沢山の人と共に生きていく上での智慧をしっかりと幼稚園で身につけなければならぬと考えます。幼稚園では沢山の種をまいて行くことです。興味を持てる保育をしていく事です。



子どもたちの「見る・聞く・触る・嗅ぐ・味わう」と言う、「五感」を最大限に活用しながら、集団の中で沢山経験させ心の栄養素を蓄えて行くことです。

「難しい・大変」と言っている大人が答えを出してしまうようなマイナスの感覚ではなく、子どもが自分で考え、選択が出来るように、基礎である土台づくりと環境を整える事、また、大人たちはいけないことをはつきり伝え教えることが出来るようにする事。相手の気持ちにきちんと向き合える事。

そして、何事にも一歩踏み出す勇氣と好奇心を持ち、「やってみて楽しい」、「苦手の事ができた」と心で感じる喜びを共に味わいたいものです。

第二幼稚園

保護者も通い続けました

園長 加々美 健一

今年の三月末のことです。私は年長児の保護者の方々に深く感動しました。それは、卒園式を数日後に控えた、朝の登園時でのことでした。

ある母親は、子どもを幼稚園の通用門まで送った後、わが子の園舎に向かう後姿をフェンス越しに見送りながら、感動の涙を流していました。また、ある母親は、園舎

に向かうわが子の後姿を追いながらビデオカメラにおさめていました。さらに、ある母親は、通用門で子どもたちを出迎えている私にまで、「幼稚園のよき思い出にしたいので、子どもと一緒にの写真を撮らせてください」などと、カメラを向けてきました。

この時、私は改めて認識しました。幼稚園に通い続けたのは、決して子どもたちだけではなかったのです。保護者の方々も子どもたちとともに通い続けたのです。

毎朝お弁当をつくり、雨の日も風の日も、この三年間子どもたちとともに幼稚園に通い続けたのです。そこには、筆舌に尽くしがたい様々な苦勞があっ



たはずでした。そして、卒園が近づくに従い、わが子の成長と送り迎えのご苦勞が次々と思い出され、感慨無量となったのです。本幼稚園は、保護者による送迎とお弁当づくりが、特徴の一つとなっております。このことについては、保護者の方々から様々なご意見がありますが、今後とも、引き続きご理解・ご協力をいただきたいことでもあります。

クラブ活動の成果

新人戦でベスト 16 に

大学 男子バスケットボール部

6月22日より開催された第49回関東大学バスケットボール大会新人戦において横浜市立大学、神奈川大学を撃破し、3回戦に臨みましたが拓殖大学にリバウンドを支配され、ディフェンスに苦しみ残念ながら敗退しました。しかし関東学生連盟の加盟校が90校を超える中、実力でこの地位を獲得しただけに秋のリーグ戦が多いに期待されます。

全国大会で 25 回目の金賞・小編成の部第 1 位

高等学校 バトントワリング部顧問 笹山 明博



本年1月幕張メッセで行われた第36回マーチングバンド・バトントワリング全国大会の高等学校バトン編成の部に本校バトンチームは連続34回の出場を果たし、25回目の金賞と小編成の部第1位になりました。2001年1月、2005年1月にはグランプリに輝いており、3度目のグランプリを狙っていましたが、大編成第1位の石川県遊学館高校に破れ、3度目の悲願はなりませんでした。私たちの目標は連続出場を続け、グランプリをいつでも狙える学校でありたいと日々努力しています。

高校総体埼玉県予選で県ベスト 8 に

深谷高等学校 サッカ一部顧問 為谷 洋介



5月16日より開催され、3回戦でプリンスリーグU-18関東代表の武南に2-0で快勝、初めて県ベスト8に入ることができましたが、4回戦で県立浦和高校に延長の末0-1で惜敗。しかし強豪がひしめく埼玉県でのこの実績は高く評価されます。

為谷先生談「今年のチームは突出した選手はいませんが、全員で粘り強く守り、少ないチャンスをものにして勝ちあがってきました。今大会では、目標のひとつであった埼玉県8強に入ることができました。次なる選手権大会に向け、精進していきたいと思います。」

高校総体埼玉県予選ベスト 4 に

深谷高等学校 女子バレーボール部顧問 野平 貴史



総体県予選では、全国大会出場を目指し頑張りましたが、力及ばずベスト4で終わってしまいました。埼玉県予選会でのベスト4のリーグ戦を戦うのは、これで2度目でしたが、前回全国へチャレンジした時よりも戦っていて勝てるチャンスもあり、力の差が無くなってきたように感じられました。今後は自分の力がいつでも発揮できる精神面、絶対に勝つんだという強い気持ちを養い、次こそは、今までよりも高いレベルで試合ができるようにしていきたいと思います。現チームで私がチームを率いて6代目となりますが、一つ一つ着実に成長しているものと確信しております。次は私学関東大会や天皇杯、皇后杯全国バレーボール選手権大会埼玉県ラウンドに出場しますが、次も頑張りたいと思います。

関東大会予選 都大会出場

高等学校 男子バレーボール部顧問 西山 喜三男



現在17名の部員で活動しています。目標として「高いレベルでの文武両道」を掲げ、勉学にも部活動にも精一杯取り組むことを目指し、日々活動しています。

高校からバレーボールを始めた生徒ばかりですが、スタメンの平均身長が180cmに届くほどで、将来性豊かな生徒に対して、基本練習を繰り返しながら技術の向上に努めてきました。その甲斐もあり、4月に開催された関東大会東京都予選会では、悲願であった都大会出場を果たすことができました。

また、6月に開催されたインターハイ予選でも2大会続けて都大会出場を果たし、これまで部活動を支えてきた3年生の引退にも花を添えることができました。

今後も部活動の目標に向かって、より活発な部活動にしていきたいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

都大会 5 位入賞

中学男子卓球部 顧問 我妻 利真



10年前、元気あふれる中学生1年生男子が10人も入部し、部を盛り上げてくれました。全員が貪欲で負けず嫌いの性格であり、高校生と一緒に練習や練習試合などをしたためか直ぐに強くなり、中学2年の新人戦では「男子卓球部」として初の都大会に出場し、いきなり5位入賞という奇跡的な結果でした。6月に行われた春の都大会でも5位となり、現在は中学最後の夏の大会に向けて励んでいます。中高一貫のメリットを生かし、「名門復活!」を目指し、生徒とひとつになって頑張っていきます。応援をお願いします。

学園人事異動（採用・昇任・異動・退職）

教 員										所 属	区 分	氏 名	配 属・役 職	前 任
第二幼稚園	幼稚園	深谷高校	高校・中学	大 学 (経営学部)	大 学 (応用心理学部)	大 学 (子ども学部)	大 学 (子ども学部)	大 学 (子ども学部)	大 学 (子ども学部)					
採用	採用	昇任	昇任	採用	昇任	昇任	昇任	昇任	昇任	採用	採用	採用	採用	採用
佐々部朝野	清水優希	野村奈央	野平貴史	採用	昇任	昇任	昇任	昇任	昇任	採用	採用	採用	採用	採用
教諭	教諭	教諭	教諭	校長	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭	教諭
大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒	大阪芸術大学短期大学部 平成二十年度卒

職 員										所 属	区 分	氏 名	配 属・役 職	勤 続 年 数
幼稚園	深谷高校	高校・中学	短期大学	第二幼稚園	幼稚園	深谷高校	高校・中学	短期大学	大 学 (八千代)					
退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職
中川洗治	宮下英恵	福見喬司	斎藤全一	竹内真紀	安達武春	村上清貴	青木重	沖松昌朗	末田喜久子	松本喜久子	吉田菜緒	佐藤友美	石川静香	小林勇雄
技能職員	助手	技能職員	情報助手	事務職員	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長
二十三年一ヶ月	三年	三年	九ヶ月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月	十一年三月

職 員										所 属	区 分	氏 名	配 属・役 職	前 任
法人本部	幼稚園	深谷高校	高校・中学	短期大学	大 学 (八千代)	大 学 (八千代)	大 学 (八千代)	大 学 (八千代)	大 学 (八千代)					
異動	採用	採用	昇任	採用	採用	採用	採用	採用	採用	採用	採用	採用	採用	採用
内田善浩	袖山明裕	横地直子	相原重好	金子明久	菅 理恵	元木章太	渡部 賢	藤森大輔	都筑次美	阿部博英	増田神一	小林雅央	教務課長	教務課長
企画調査室主任	技能職員	助手	技能職員	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長
丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)	丸ノ内運輸(株)

学園役員紹介

平成二十一年七月一日現在の役員は左記の通りです。

○理事長	木内秀俊
○副理事長	木内秀樹
理事	大谷幸男
理事	國分孝男
理事	黒田定男
理事	佐々木富也
理事	市村操一
理事	中里明彦
監事	下山武士
監事	黒崎康夫
監事	大澤健
評議員	中田カヨ子
評議員	加々美健一
評議員	渡部賢
評議員	石山賢
評議員	津島節子
評議員	三上令子
評議員	深谷昌志
評議員	海保博之
評議員	渡辺千仞
評議員	菅澤喜八郎

（○印の方は評議員も兼務です）

学園後援会総会開催される



六月十三日（土）総会が開催されました。
平成二十一年度役員は左記の通りです。

名誉会長	木内秀俊
顧問	山下武士
会長	大野林太郎
副会長	水野昭平
荒井千恵子	
佐々木富也	
吉澤良彌	
大村千恵子	
藪崎千恵子	
三上令子	
遠藤洋子	
川北水江	
太鼓地由美子	
並木智恵子	
依田貴美子	
星田和子	
佐藤敬一	
神崎清一	
金澤	

学校法人東京成徳学園 平成 20 年度決算

資金収支計算書

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）（単位：千円）

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,967,680
手数料収入	120,295
寄付金収入	108,829
補助金収入	1,569,375
資産運用収入	31,073
資産売却収入	102,359
事業収入	9,171
雑収入	91,397
借入金等収入	1,600
前受金収入	938,749
その他の収入	593,919
資金収入調整勘定	△ 1,120,624
前年度繰越支払資金	2,521,665
収入の部合計	8,935,488
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	3,702,345
教育研究経費支出	1,103,297
管理経費支出	402,798
借入金等利息支出	53,387
借入金等返済支出	279,570
施設関係支出	279,583
設備関係支出	150,438
資産運用支出	167,473
その他の支出	337,206
資金支出調整勘定	△ 113,555
次年度繰越支払資金	2,572,946
支出の部合計	8,935,488

消費収支計算書

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）（単位：千円）

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	3,967,680
手数料	120,295
寄付金	110,841
補助金	1,569,375
資産運用収入	31,073
資産売却差額	2,359
事業収入	9,171
雑収入	91,397
帰属収入合計	5,902,191
基本金組入額合計	△ 462,690
消費収入の部合計	5,439,501
消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	3,700,797
教育研究経費	1,807,699
管理経費	481,709
借入金等利息	53,387
資産処分差額	327,707
徴収不能引当金繰入額	880
徴収不能額	16,720
消費支出の部合計	6,388,899
当年度消費支出超過額	949,398
前年度繰越消費支出超過額	6,015,037
翌年度繰越消費支出超過額	6,964,435

貸借対照表

（平成21年3月31日現在）（単位：千円）

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	44,668,825
有形固定資産	40,937,191
その他の固定資産	3,731,634
流動資産	2,866,031
資産の部合計	47,534,856
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	615,204
流動負債	1,581,895
負債の部合計	2,197,099
基本金の部	
科 目	金 額
基本金	52,302,192
消費収支差額の部	
科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	6,964,435
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	47,534,856

お気軽に一度東京成徳のキャンパスへお越しください。オープンキャンパス、学校説明会、入試日程などはホームページで詳細を。



オープンキャンパス風景 (左 八千代キャンパス・右 十条台キャンパス)

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院	http://www.tsu.ac.jp/gra PC office-gra@tsu.ac.jp (e-mail)	電話 03-3927-4116
東京成徳大学	http://www.tsu.ac.jp PC http://www.tsu-mobile.com 携帯	 人文学部 応用心理学部 八千代キャンパス入試・広報センター 電話 047-488-1000 (直通) 子ども学部 経営学部 十条台キャンパス入学課 電話 03-3908-4566 (直通)
東京成徳短期大学	http://www.tsc.ac.jp PC http://www.tsc-mobile.com 携帯	
東京成徳大学中学・高等学校	http://www.tokyoseitoku.jp/hs	電話 03-3911-2786 電話 03-3911-5196
東京成徳大学深谷高等学校	http://www.tsfh.jp	電話 048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind	電話 03-3911-6337
東京成徳短期大学附属第二幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind	電話 048-854-2151
東京成徳スイミングスクール		電話 03-3914-2383
学外施設戸隠グリーン (4月～9月まで開館)		電話 026-254-2662

学校法人 東京成徳学園 〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 TEL 03-3911-2411 FAX 03-3911-6500
 法人本部企画調査室 東京成徳広報 第26号 平成21年7月発行